



ふくしまの「食の安全・安心」は どう守っているのかな？

キビタンの
わかる
県政

県では、農林水産物の安全・安心を確保するため、放射性物質の
モニタリング検査のほか、産地での自主検査をしています。



試験操業

安全が
確認された
魚に限定！

試験操業の水揚げの様子



自家用野菜などの検査

非破壊式検査の様子

すりつぶさなくても
検査できます！



牛の全頭検査

全ての牛を
検査！

牛の全頭検査の様子

操業自粛を余儀なくされている沿岸漁業の再開に向けて、漁業者は試験操業をしています。捕れた魚は漁業協同組合連合会の基準により、漁協が放射性物質の自主検査をしています。

県や各市町村では、主に公民館などの身近な公共施設で、家庭菜園で栽培された野菜や野生の山菜・きのこ類などの放射性物質検査をしています。

福島県から出荷される全ての肉用牛を、県・JA・畜産関係団体が連携して、市場に流通する前に県農業総合センターや分析機関で放射性物質検査をしています。



検査の結果はどうなっているのかな？

野菜・果実、畜産物、栽培きのこで基準値を超えたものはありません。

農林水産物のモニタリング等結果 (平成26年4月～平成27年3月)

品目	検査件数	基準値超過件数	
		件数	割合
平成26年8月～平成27年7月 玄米(平成26年産)	約1,100万件	2件	0.00002%
野菜・果実	5,850件	0件	0.00%
畜産物(原乳・肉類・鶏卵)	4,867件	0件	0.00%
山菜・野生きのこ	729件	25件	3.43%
栽培きのこ	835件	0件	0.00%
水産物	9,688件	75件	0.77%

※玄米は全量全袋検査

食品中の放射性セシウムの基準

(単位:Bq/kg)

食品	日本	EU	アメリカ	コーデックス委員会
飲料水	10	1,000	1,200	—
牛乳	50	1,000		—
乳幼児食品	50	400		1,000
一般食品	100	1,250		1,000

※消費者庁「食品と放射能(第9版)」p.19を参考に作成
※コーデックス委員会:食品の国際基準を策定している政府間機関

モニタリング検査結果の詳細な内容は
こちらのサイトへアクセス！

[ふくしま新発売](#) [検索](#)

検査結果を
公開しているから
安心だね！



みんなにふくしまの食の「魅力」と「安全・安心」を もっと知ってもらおう取り組みをしているよ！

県内の親子向け体験ツアー

安全・安心実感ツアー

県産農林水産物の安全性を理解していただくことを目的に、県内に住む小学生の親子を対象(県外に避難している親子も含む)として、生産者の取り組みを見て聞いて体験するツアーを開催しています。



ツアーの様子

[安全・安心実感ツアー](#)

[検索](#)

福島県庁農林企画課
☎024(521)7319

首都圏等消費者交流事業

首都圏等の消費者体験ツアー

首都圏などの消費者が生産者との交流を通じて正確な情報と知識を得る体験ツアーを実施しています。



ツアーの様子

福島県庁消費生活課 ☎024(521)8195

[首都圏等消費者交流事業](#)

[検索](#)